

国際臭素審議会-BSEF は、E-Display Regulation のエコデザインにおけるハロゲン系難燃剤(HFR)の不当な禁止を撤廃するよう欧州委員会に求めている

本日、欧州委員会は電子ディスプレイの新しいエコデザイン要件-指令 2009/125/EC ([Link](#))を発表した。これらの要件には、規則の範囲内に入るディスプレイのエンクロージャーやスタンドにおけるハロゲン系難燃剤(HFR)の前例のない禁止が含まれている。¹

いくつかの臭素系難燃剤を含む全てのクラスの難燃剤を対象とし、それらが正しく登録され、いかなる規制上の規制も受けていないにもかかわらず、それらを禁止するため、化学物質に関する欧州の法律とは正当化されず、不均衡であり、一貫性がない。

「EU には、電気・電子機器における有害物質の規制に対処するための法的手段があり、指令と呼ばれている。同様に、REACH は、成形品や製品における化学物質使用の制限を規定している」と BSEF の Dr. Kevin Bradley 氏は指摘した。「明らかに、委員会は誤りをしており、それを修正する必要がある」と付け加えた。

電子ディスプレイのエンクロージャーやスタンドでの HFR の使用禁止を含む主な根拠は、それらが WEEE プラスチックのリサイクルを妨げることであった。BSEF はこれを完全に否定する。「リサイクル業界内の現場の事実はこれを支持していません」と Bradley 氏は指摘した。「はい、BFR 含有プラスチックは、EU WEEE 指令の下で別々に分離・処理する必要がありますが、これは革新的なプラスチックとポリマーリサイクル業者によってうまく管理されています」と同氏は述べた。

BSEF とその加盟企業は、気候変動と循環型経済の課題に対処するのに役立つ材料とエネルギー効率のための製品設計を改善するための欧州委員会の取り組みを完全に支持する。しかし、BSEF は、この禁止はどちらの目的に関しても何の利益もないと考えている。

したがって、BSEF は、この禁止を撤廃することに向けて努力するであろう。

連絡先

ケビン・ブラッドリー事務局長 T: +32 2 436 9600 | E : <mailto:kbradley@bsef.org>

BSEF について

BSEF-国際臭素審議会-は臭素生産者および臭素技術生産者の世界的代表体である。BSEF はもともと 1997 年に設立され、臭素の社会的利益とその応用に関する知識の育成に取り組んでいる。BSEF のメンバーは、アルベマール社、ICL 工業製品、Lanxess および Tosoh である。

詳しくは、www.bsef.org をご覧ください。詳しくは、Twitter [@BromineInfo](#) の BSEF をご覧ください。最新のニュースや情報をご覧ください。

¹ Commission Regulation (EU) 2019/2021 of 2019 10月1日 - 欧州議会および理事会指令 2009/125/EC、修正委員会規則(EC) No 1275/2008および廃止委員会規則(EC) No 642/2009 - pに従い、電子ディスプレイのエコデザイン要件を定める。241

編集者への注記-HFR の禁止の委員会の理論的根拠-BFR は WEEE からのプラスチックのリサイクルを妨げている

使用済み電子機器のリサイクルは、欧州TACガイダンス文書附属書 IIおよび指令EC/2002/96の第6.1条に明確に記載されているプロセスに従う。

「物質、調剤および成分は、手作業、機械的または化学的に、金属学的に除去することができ、その結果、有害物質、調剤および成分、ならびに附属書 IIに記載されたものは、処理プロセスの最後に、流れの識別可能な流れまたは識別可能な部分として含まれる。環境的に安全な処理を証明できる(監視されている)場合には、物質、調剤または成分が同定可能である」と述べている。

End-of-Life Electronics のリサイクル業界全体は、このガイダンスに従い発展してきた。

電気・電子機器のWEEEプラスチック部品の大部分は臭素系難燃剤(BFR)を含有しておらず、BFRを含有している約5～10%のうち、POP BFR(ストックホルム条約による制限)を含有しているのはc.30%のみである。Deca-BDEとPBDEのグループは過去にエレクトロニクスで集中的に使用されており、欧州のリサイクル業界はPBDEのこの遺産に対処しなければならない。WEEE指令の要求事項は、非BFRプラスチックから分離しなければならないことを意味する(WEEE指令の要求事項は、WEEEプラスチック中の非制限FRでさえも分離することを意味する)。BFR含有WEEEプラスチックのリサイクルは、CEN基準に準拠して進められています。²

Horizon 2020の資金提供プロジェクトPolyCEと協力した革新的な欧州プラスチックリサイクリング業界は、WEEE (電機および電子機器の廃棄物)からこれらのプラスチックの複合混合物から指令およびREACHに準拠した消費者リサイクル後プラスチックを製造するために、系統的な分別および分離コンセプトを開発した。制限されたPOP BFRを含む分離プラスチックは、関連するバーゼル条約のガイドライン文書に沿って、適切な焼却プロセスで排除される。³

まとめると、BFRは、電気・電子機器(WEEE)の廃プラスチックリサイクルを妨げていない。

BSEF とその会員企業は、WEEE と自動車プラスチック廃棄物からプラスチックリサイクルの効率と収量をさらに向上させるためにデザインされた一連の H2020 プロジェクトを支援して来ており、今も支援しています。ここで特に関連のある例は、EU の Horizon 2020 プログラムの下で共同資金援助された「Close WEEE Project」である。このプロジェクトは、WEEE プラスチック投入におけるPC-ABS と ABS の含有量の 80%までの回復収率の増加に焦点を当てた。CREATOR(Close WEEEの後継者)、PLASTIC2bCLEANED (ラブスケール)、PSLOOP(デモプラント)などのその他のプロジェクトは、WEEE や他の製品からの再生プラスチックの品質を改善する業界のバリューチェーンの推進力のさらなる例である。⁴⁵

²TS 50625-4 ([Link](#)): 収集・ロジスティクス

EN 50614 ([Link](#)): 再使用の準備

EN 50625-1 ([Link](#)): 一般的な治療要件

EN 50625-2-2 ([Link](#)); TS 50625-3-3: ディスプレイ(CRT FPD)

³循環型経済のための消費者後ハイテクポリマー<https://www.polyce-project.eu/>([Link](#))

⁴<http://closeweee.eu/>の([Link](#))

⁵ <https://polystyreneloop.org/>